

会 議 録

会 議 名	令和5年度第2回東松山市社会教育委員会議定例会					
開 催 日 時	令和6年2月19日（月）			開 会	14時00分	
				閉 会	15時00分	
開 催 場 所	総合会館3階 302会議室					
会 議 次 第	1 開会 2 挨拶 3 議題 （1）令和5年度社会教育事業進捗状況について ①生涯学習課 ②市立図書館 ③きらめき市民大学 ④埋蔵文化財センター ⑤スポーツ課 ⑥子育て支援課 ⑦社会教育推進計画の進捗状況 （2）令和6年度社会教育事業計画について ①生涯学習課 ②市立図書館 ③きらめき市民大学 ④埋蔵文化財センター ⑤スポーツ課 ⑥子育て支援課 （3）社会教育関係団体事業補助金について 4 その他 5 閉会					
公開・非公開の別	公開		傍 聴 者 数		なし	
非公開の理由 （非公開の場合）						
委員出欠状況	委員長	峯 岩男	出席	委 員	神戸 考裕	出席
	副委員長	金子 恒雄	出席	委 員	篠崎 つや子	出席
	委 員	岩本 教裕	欠席	委 員	中嶋 栄	欠席
	委 員	梅澤 行子	出席	委 員	野口 紀子	出席
	委 員	大塚 実	出席	委 員	藤野 香織	欠席
事 務 局	教育長 吉澤 勲		生涯学習部長 柳沢 知孝			
	生涯学習部次長 田島 信子		生涯学習課長 上 敏文			
	生涯学習課副課長 小林 玲人		生涯学習課副主幹 柳 恒平			

次 第	顛 末
1 開会	生涯学習課長 上 敏文
2 挨拶	生涯学習部長 柳沢 知孝 社会教育委員 峯委員長
3 議題	<p>(生涯学習課長 上 敏文) 本会議の運営・進行の確認 議事進行、峯委員長となる。</p> <p>(小林副課長より) 事務局より会議の運営について ①会議の公開について ②傍聴者数について ③署名委員について (峯委員長) 公開についての確認 公開についての社会教育委員からの意見はなく、傍聴人の参加もなく会議を行うこととなった。</p> <p>(峯委員長) 議事録の署名人の確認 会議録の確認・署名については、野口委員・梅澤委員となる。</p> <p>(1) 令和5年度社会教育事業進捗状況について (小林副課長) ①生涯学習課 (厚木館長) ②市立図書館 (小関局長) ③きらめき市民大学 (佐藤所長) ④埋蔵文化財センター (山口課長) ⑤スポーツ課 (大石課長) ⑥子育て支援課 (小林副課長) ⑦社会教育推進計画の進捗状況</p> <p>〈進捗状況の質疑について〉 (神戸委員) ②について 比企広域電子図書館のアップデートの頻度 在書数 利用者数</p> <p>(厚木館長) 手元に資料がないため詳細な数字は回答できないが、コンテンツ数は、おおよそ3,000程度である。その中の一部について、各参加自治体が毎月交代で選んだコンテンツに更新している状況である。利用登録者数は、導入当初の頃と比較すると減少傾向にあるため、電子図書館のコンテンツを使ったおはなし会の開催や、市内携帯電話販売店等にポスターの掲示やチラシの配架をお願いするな</p>

どPRに努めている。

(篠崎委員)

②について

なしの花図書室閉館に伴う図書の貸し出しについてはどのようなになっているか。また、市民への周知はどうしているか。

(厚木館長)

電話やインターネットで、事前に貸出予約された図書館資料を平野市民活動センターの窓口で渡す新たなサービスを開始する予定であり、周知については来年度に入ってから進めていく。なお、一部市民活動センターにおいては同様のサービスを平成19年から提供しているところであるが、それらのセンターについても、新たなサービスの運用開始に合わせ対応可能な日や時間帯を更に拡充する。土日祝日や夜でも、窓口で予約資料を引渡すことが可能となるので利便性は向上するものと考えている。

(金子委員)

①社会教育講座について

講座の市民ニーズをどのように把握しているのか

(柳副主幹)

実施講座終了後のアンケートを実施して調査している。

(金子委員)

①図書館でおこなっている講座は社会教育講座ではないのか

(上課長)

次年度は図書館と協力して事業を実施していく予定である。

(金子委員)

⑤熱中症の市としての対応はどうなっているか

(山口課長)

市の催し物の前日17時・当日5時にアラートがあった場合には、原則事業を中止としている。

・教育長、途中入室後あいさつ

(2) 令和6年度社会教育事業計画について

(小林副課長) ①生涯学習課

(厚木館長) ②市立図書館

(小関局長) ③きらめき市民大学

(佐藤所長) ④埋蔵文化財センター

(山口課長) ⑤スポーツ課

(大石課長) ⑥子育て支援課

〈事業計画の質疑等について〉

(神戸委員)

⑥放課後子ども教室の定員(16名)は少ないと感じる。

(大石課長)

安心、安全な教室を実施するには現状数が上限だと感じている。ただ、今後検討していく。

(峯委員長)

人数を増やす上で、指導者の確保も課題であると感じるが、工夫して確保してほしいと思う。

(篠崎委員)

⑥放課後子ども教室は定員に届いていないところもあるので、4月当初ではなく、もう少し早い段階で配っても良いのではないか。

(大石課長)

学校からの依頼で新入生説明会では配らないでほしいという要請があった。しかし、その前後で配布できるような準備ができればと考えている。

(金子委員)

③きらめき市民大学の講義数はどう決まるか

(小関局長)

カレンダーに左右される。水曜日と木曜日を基本に、祝日を除いた日数で講義数が決まる。

(金子委員)

③きらめき市民大学の辞退者が多いがなぜか。

(小関局長)

現実の違いを感じ退学へと繋がったと考える。健康上の問題や、家族の介護、就労などとの兼ね合いで退学せざるを得ない状況であった。

	<p>(小林副課長)</p> <p>(3) 社会教育関係団体事業補助金について</p> <p>(神戸委員)</p> <p>民俗芸能保存連絡協議会を学校などで利用することができるのか。</p> <p>(佐藤所長)</p> <p>それぞれの団体次第であると考えられる。</p>
4 その他	<p>(金子委員)</p> <p>寺田委員の後任はどう考えているのか。</p> <p>(上課長)</p> <p>後任についてはスポーツ協会に打診中であるが、協会側も該当となる副理事長が不在のため、今後の改選期を待って選出する方向で検討をしている。</p>
5 閉会	生涯学習課長 上 敏文
	<p>上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。</p> <p>令和6年 3月 7日 署名委員 野口 紀子</p> <p>署名委員 梅澤 行子</p>